

# 交通需要予測の役割

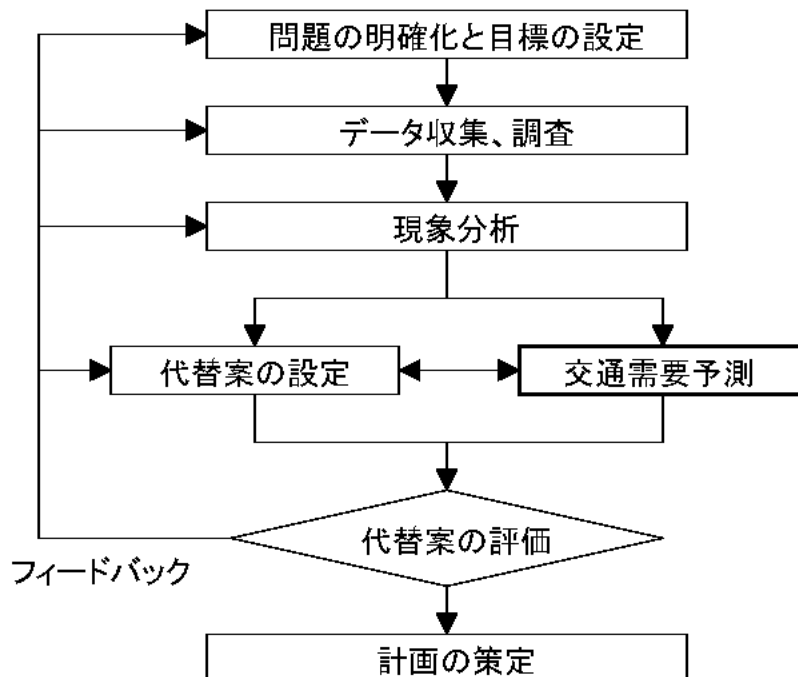
—— まず、問題点の分析と目標設定をすべきです ——

1月18日のPI会議で「今後の課題」として挙げられた審議項目のほとんどは「将来交通量予測」に関するものでした。また、1月21日に開始した「外環計画に関する技術専門委員会」でも審議事項の第一に「将来交通量」が挙げられるなど、外環の必要性を審議する中心は「交通需要予測」となっています。

この度、国土交通省は「外環の将来交通量」をまとめられましたが、本来、交通需要予測は、交通計画の一連の流れの中で、「妥当な計画案」を探るために行なうものですから、私は、将来世の中がどうなっているか・どうなっていてほしいかという上流の事柄を含めた前提条件をイメージしていました。

これまで外環に関連する各地を歩き、様々な立場の方のお話を伺い、資料を見てきた様子からすると、問題の構造は複雑で、需要があるから道路をつくれれば解決するという簡単な話ではなさそうです。まず、現状の問題点の分析と目標設定をすべきです。

## 交通計画の策定プロセスにおける交通需要予測の位置付け



出典：土木学会『道路交通需要予測の理論と適用』2003.8

以上／2005.2.15 江崎美枝子